

J:COM が「健康経営優良法人 2019 ～ ホワイト 500 ～」に認定

株式会社ジュピターテレコム(J:COM、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:井村 公彦)は、2019年2月21日、経済産業省と日本健康会議*1 が共同で選定する「健康経営優良法人 2019 ～ ホワイト 500 ～」に認定されました。「健康経営優良法人 ～ ホワイト 500 ～」は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる大規模法人を認定する制度です。



J:COM は経営方針「従業員と家族の幸福」および行動指針「すべての人を大切にする」のもと、2018年10月に健康経営*2 宣言をしました。経営の基軸「健全な事業活動を通じて、お客さまの暮らしに新たな価値を創造し、夢と感動をお届けするとともに、豊かな地域・社会の実現に寄与する。」のためには、従業員一人ひとりが心身ともに健康で能力を存分に発揮することが必須と捉えています。

従業員の健康増進に向けた取り組みとして、①グループのスポーツ専門チャンネル「ジェイ・スポーツ(J SPORTS)」のイベント運営経験を生かしたプロトレーナーによる運動講習会、②生活習慣病、喫煙・飲食など、健康に関する豆知識の共有、③女性特有の健康課題に関するセミナー、④きめ細かいメンタルヘルスケアの実施などがあり、継続的に展開中です。

J:COM は今後も、従業員一人ひとりが心身ともに健康な状態でいきいきと活躍できる職場環境の実現に努め、健康経営の推進により、地域の皆さまに満足いただける高品質なサービスの提供に尽力してまいります。

*1 日本健康会議とは、少子高齢化が急速に進展する日本において、国民一人ひとりの健康寿命延伸と適正な医療について、民間組織が連携し行政の全面的な支援のもと実効的な活動を行うために組織された活動体です。経済団体、医療団体、保険者などの民間組織や自治体が連携し、職場、地域で具体的な対応策を実現していくことを目的としています。(日本健康会議ホームページより抜粋)

*2 健康経営とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。企業理念に基づき、従業員等への健康投資を行うことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらす、結果的に業績向上につながると期待されています。(経済産業省ホームページより抜粋)

株式会社ジュピターテレコムについて <www.jcom.co.jp>

株式会社ジュピターテレコム(本社:東京都千代田区)は、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの25社73局を通じて約547万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電力等のサービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約2,157万世帯です。番組供給事業においては、17の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IPマルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。※世帯数は2018年12月末現在の数字です。